

雄和地域におけるグループインタビューの結果について

1 実施日

- ・平成21年 1月27日 雄和基幹集落センター 参加者 16名(大正寺)
- ・ " 1月28日 農林漁業者トレーニングセンター 参加者 9名(種平)
- ・ " 1月29日 戸米川小学校 参加者 6名(戸米川)
- ・ " 1月30日 雄和地区北部コミセン 参加者 7名(川添)
- ・ " 2月4日 四ツ小屋小学校 参加者 5名(四ツ小屋)

2 グループインタビューの結果要旨

1) 中央交通の路線バスの廃止と代替交通について

- ・公共交通の存続の要望(全)
- ・運行本数は、多少削減してもいいが、可能であれば現状維持を希望する(全)
- ・中ノ沢町内は、火・金のみでの運行となっているが、現状維持を望む(大正寺)

2) 現在の利用状況について

- ・萱ヶ沢町内など大正寺小学校より南側に居住している方は、新波町内などへの通院、買い物が主な目的である(大正寺)
- ・中ノ沢町内からは、新波町内への通院、買い物のほか、ふるさと温泉または耕心苑の利用が主なものである(大正寺)
- ・中通地区の医院または赤十字病院への通院、雄和市民センター周辺での買い物が主なものである(種平)
- ・御野場・牛島地区の医院への通院が主なものである(戸米川)
- ・四ツ小屋地区において、赤十字病院に通院する場合、JRで秋田駅に向かいバスで同病院に行く方が多い、直行便を検討して欲しい(四ツ小屋)。

3) 乗り換え地点(乗り継ぎ拠点)について

- ・通院、買い物等は、御野場地区が主であるため、御所野地区で乗り継ぐことには、抵抗がある(大正寺・種平)
- ・赤十字病院への通院者が多いことから同病院への直通便を望む。
- ・御所野地区での乗り換えではなく、赤十字病院まで直行運行して欲しい(四ツ小屋)

4) 経路について

- ・研究会に提示した代替案の経路に関しては、芝野町内を経由するルートにおいて、乗り継ぎ拠点が御所野となると、(秋田駅から見ると)戻ることになる。御野場地区を乗り継ぎ拠点として欲しい。また、赤十字病院へ直行する便(御所野地区終点のルート)を望む(戸米川)。
- ・椿岱町内居住者からの伝言があり、予約式となっても良いから運行して欲しいとの声があった(川添)。

5) バス車両と運行形態について

- ・運行形態は、朝夕の利用者の多い時間帯は路線バス型(定時定路型)を希望する(全)。
- ・ジャンボタクシーでの運行では、時間帯によっては、乗り残しが発生する恐れがある(戸米川)。

6) 利用料金(運賃)について

- ・ユーグル導入前の運賃(平成11年当時)を目安として欲しい。極端な負担増は承服できない。

(例)秋田駅 - 大正寺地区(新波停留所)間

現在 秋田駅 - 雄和市民センター前 - 新波 680円(580+100)

H11当時 秋田駅 - 新波(旧大正寺線) 990円

(例)秋田駅 - 種平地区(種沢停留所)間

現在 秋田駅 - 雄和市民センター前 - 種沢 680円(580+100)

H11当時 秋田駅 - 種沢(旧種平線) 840円

7) その他

- ・雄和市民センターで用事を足す場合があるので、待ち時間を設けて欲しい(大正寺)
- ・秋田駅から雄和市民センターまでの直通便を1日2便運行して欲しい(種平)
- ・御野場地区が乗り継ぎ拠点となる場合、待合所を設置して欲しい(種平)
- ・四ツ小屋駅を利用する者は、高校生が主であるが、JRとの接続を考慮して欲しい(大正寺)